



2024年10月11日

各位

会社名 株式会社 技研製作所  
代表者名 代表取締役社長CEO 大平 厚  
(コード番号 6289 東証プライム市場)  
問合せ先 常務執行役員 柳瀬 安伸  
(TEL 088-846-2933)

## 中期経営計画の策定について

当社は、2025年8月期から2027年8月期までの3年間の計画期間とする中期経営計画を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 計画期間 2025年8月期から2027年8月期までの3カ年

2. 策定方針

以下の2点を推進することにより企業価値を高めるとともに、着実な事業展開と将来の発展に向けた強固な基盤を構築することを目指します。

- 海外各地域の課題に即したグローバルな技術提案・工法普及の活動を強化し、海外展開を加速化する
- 開発型企業として社会課題を解決する新しい「物」「方法」を生み出す体制を整備・強化する

3. 基本戦略

- 1) 海外市場への積極展開
- 2) 独創性・創造性に富む開発の強化
- 3) 国内市場の着実成長
- 4) 事業を支える基盤の強化と深化

4. 数値目標: 主たる2027年8月期の数値目標(連結)

(百万円)

連 結	2024年8月期(実績)	2027年8月期(計画)
売 上 高	29,481	36,000
うち海外売上高 (売上高に占める比率)	3,994 (13.5%)	6,500 (18.1%)
営 業 利 益	3,324	4,900
R O E	6.1%	8.5%

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 中期経営計画2027

FY25/08 - FY27/08

2024.10.11

株式会社技研製作所

将来情報に関するご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



## 中期経営計画2027

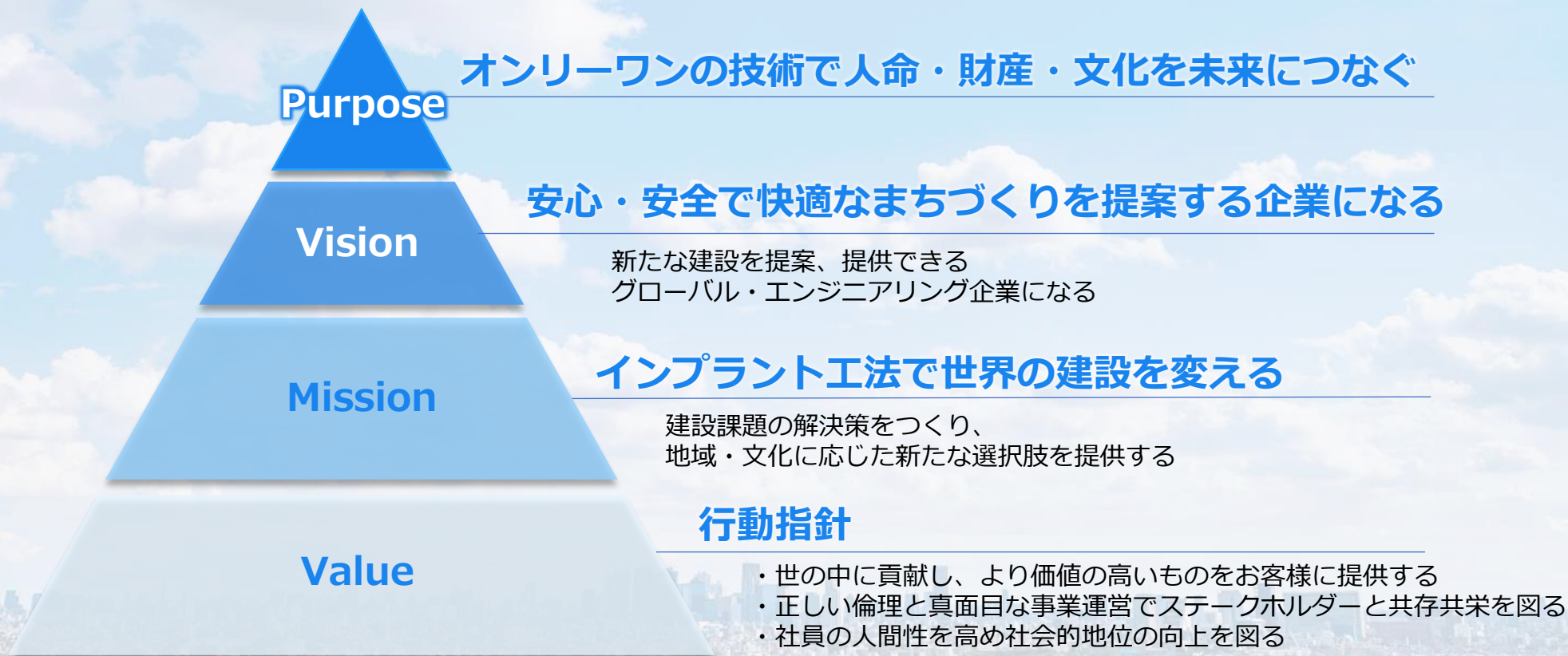
FY25/08 - FY27/08

1. はじめに
2. 前中期経営計画の振り返り
3. 中期経営計画の位置付け
4. 基本戦略
5. 数値計画
6. 企業価値向上への取り組み
7. 長期ロードマップについて



はじめに

## 技研グループのパーパスとVMV（ビジョン・ミッション・バリュー）



持続的な企業価値の向上を実現し、すべてのステークホルダーの満足の総和を最大化させることを経営の基本とし、ありたい姿を実現するため「人的資本への投資の継続」と「健全な組織づくり・運営の強化」に注力する。

技研グループは創業以来、開発型企业として社会の困りごとを解決してきた  
今後も多くの社会課題の解決策を創造・提供する開発型企业として存在し続ける

## 第2創業期

顕在化する多くの社会課題

原点回帰し、開発型企业に特化

インフラの老朽化

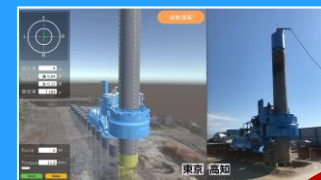
適用範囲のさらなる拡大

労働人口の減少

DXによる自動化・遠隔化技術

地球温暖化

電動化・カーボンニュートラル



社会課題

開発技術

防災・減災

2012 インプラント堤防



2003 ジャイロプレス工法

2001 レスキュー工法, ガード工法

制約条件の克服

1984

GRBシステム  
各種専用圧入機



公害対処  
(振動・騒音)

1975

サイレントパイラー



# 前中期経営計画の振り返り

## 数値計画（連結）

売上高、利益の当初目標は共に未達となった。最終年度の修正計画に対して、売上高は未達となったが営業利益は達成した。

(単位：百万円)

項目	2024年8月期	
	当初目標 (修正計画*)	実績
売上高	35,000 (30,000)	29,481
営業利益	5,500 (3,300)	3,324
営業利益率	15.7% (11.0%)	11.3%
海外売上高	10,000 (3,500)	3,994
海外比率	28.6% (11.7%)	13.5%

\*2023年10月11日適時開示

## 要因

### 売上高

- ▲海外子会社との合併関係解消
- ▲海外事業進展の遅れ
  - オセアニア：事業方針見直し
  - 北米地域：事業再構築
- ▲材料価格高騰や労務費の上昇
  - 公共事業の施工規模縮小

### 利益

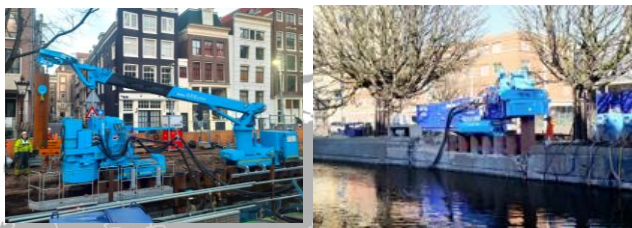
- ▲粗利率の高い製品の販売減
- ▲材料価格の高騰
  - ・人的資本への投資推進



## 基本戦略 1 インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開

海外では欧州、アジアでの案件形成や各地域での新しい工法の導入が進んだ。国内においては災害復旧やインフラ更新などの工事実績を着実に積み上げた。

### 欧州



GTOSS\* EUROPE 開始 (2024)

世界遺産運河の護岸改修PJ商業化フェーズ移行 (2024)

デン・ハーグ運河護岸改修 (2022)

### 北米



鋼管矢板対応クリアパイラー初納入 (2024)

GTOSS North America 開始 (2024)

### 日本



能登半島地震のりと里山北海道道路啓開工事 (2024)

RED HILL 1967 オープン (2023)

首都高リニューアルプロジェクトに採用 (2023)

明治用水頭首工復旧工事 (2023)

愛媛県肱川堤防整備工事 (2023)

洋上風力基地港 整備事業に採用 (2022)



### アジア



シンガポールにジャイロパイラー初納入 (2024)

タイ・パサック川の護岸整備 (2022-23)

インドに新規ユーザー獲得 (2022)

\*GTOSS : 圧入機ユーザーへの総合支援サービス「GTOSS (ジトス) =GIKENトータルサポートシステム」

## 基本戦略2 付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供

社会課題である脱炭素化、労働人口の減少、インフラリメイクに対応するソリューション開発が進展した。

### 脱炭素化

電動パワーユニットMU200  
欧州市場に投入

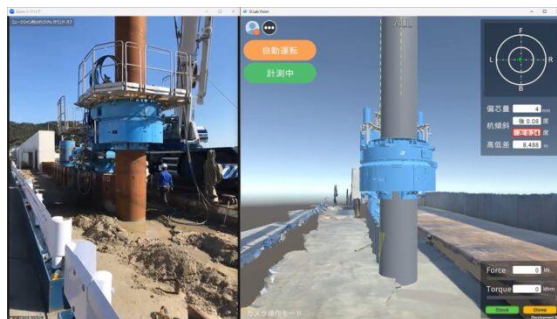


EVエコパークの開発



### 労働人口の減少

DXによる自動運転、遠隔支援技術開発

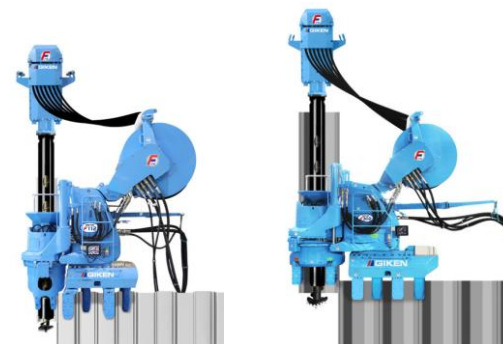


現場実証を実施

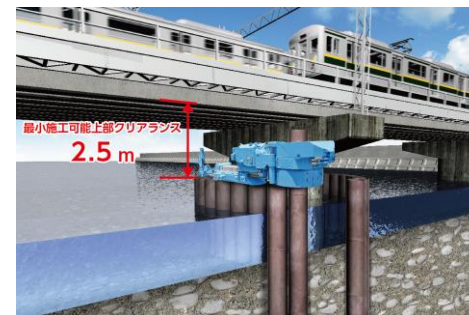


### インフラリメイク

硬質地盤対応の新型機を発売



超低空頭対応ジャイロパイラー 開発



## 振り返りまとめ

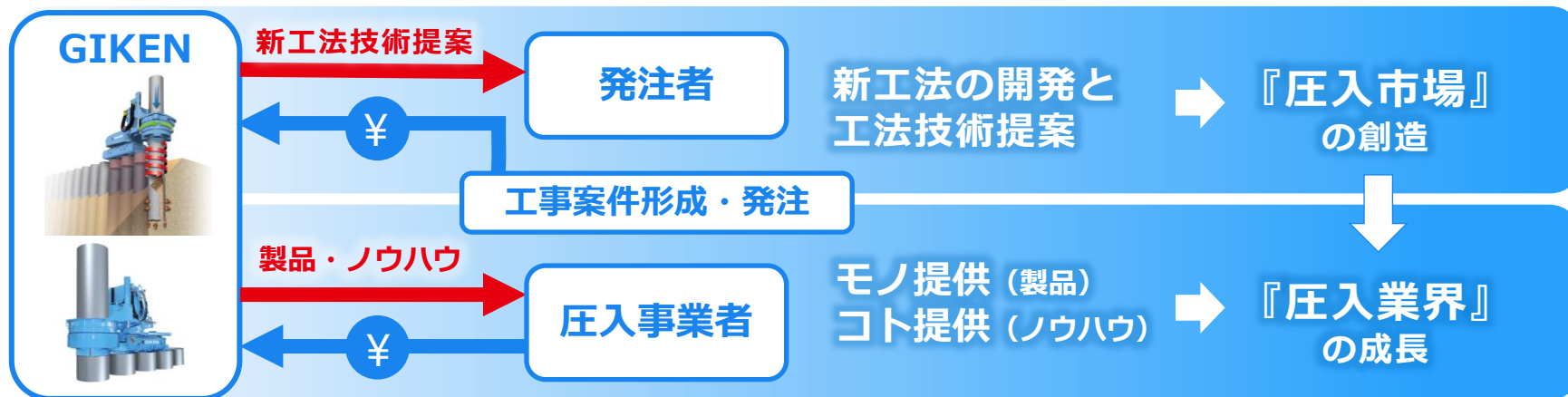
2022.8-2024.8 基本戦略	期間中の成果	残された問題&課題	本中期経営計画での取組み
基本戦略1 「インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開」	・ 圧入工法の採用金額の伸長 (伸び率：3年間で133%)	・ 材料、人件費などの高騰による施工量、事業規模の縮小傾向が継続	・ 上流提案と外部機関への働きかけ強化 ⇒ 戦略③
	・ RED HILL 1967での建築物完成	・ 新規分野（建築など）への進出の高いハードルの克服	・ 新技術開発&市場投入の強化 ⇒ 戦略②
	・ 海外新規プロジェクトの獲得 ・ パートナー展開を各拠点でスタート	・ 安定的に利益を確保する市場が海外で形成できていない	・ 各国の成熟度&ニーズに合わせた拠点機能の整備 ⇒ 戦略①
	・ エコサイクル納入6基、選定2件4基	・ 海外基準への適合に向けた準備が課題の整理までに留まる	・ 欧州進出 ⇒ 戦略①③
基本戦略2 「付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供」	・ PPTS*自動運転、インプラント NAVIの商品化	・ 商品の市場普及に向け、パートナーとの連携強化が必要	・ 新技術提案活動強化 ⇒ 戦略③
	・ 省人化技術（DX技術）の開発	・ 完成した技術の製品への機能実装	・ 実装に向けた開発完了と市場投入 ⇒ 戦略②③
	・ 電動化製品の完成&現場投入	・ 完成した製品の市場投入	・ 2027年までにフルラインナップで提供 ⇒ 戦略②③
	・ 協力企業間でモノとデータの連動、生産体制の進化	・ モノとデータの連動範囲の拡大に向けた取り組みが必要	・ 生産性向上、原価低減 ⇒ 戦略④

\* PPTS：圧入施工中に得られるデータから地盤情報を推定し、圧入条件設定から圧入の実行までを自動的に最適化するICT技術

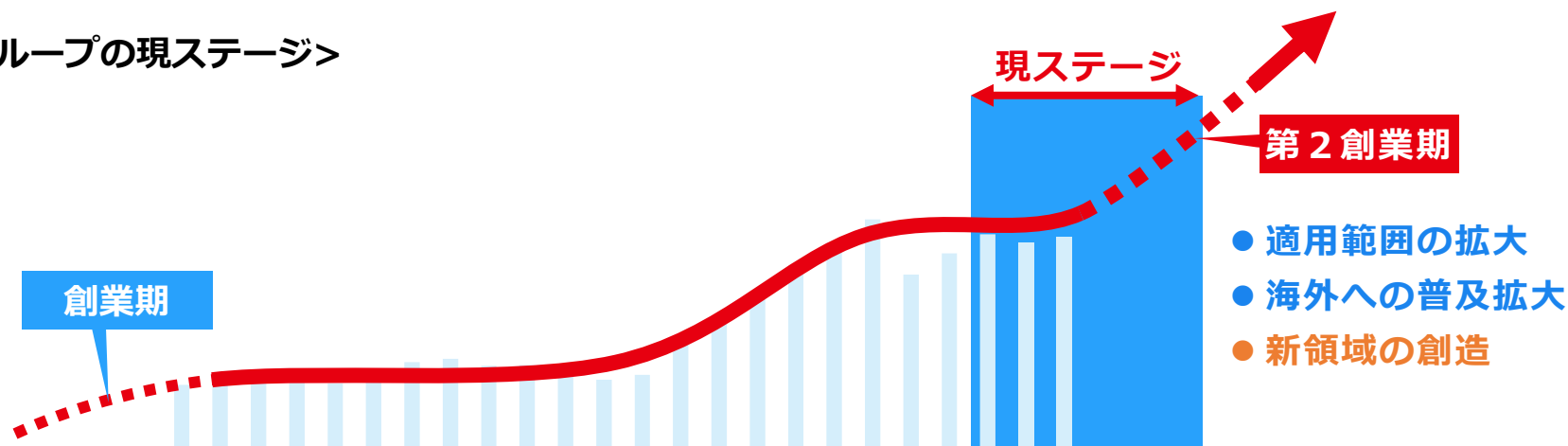
# 中期経営計画の位置付け

本計画は第2創業期の成長とビジョンの早期実現を目指し、グローバルな技術提案&普及と新工法・新製品の開発&市場投入のスピードアップを強かに推進するための計画

## <ビジネスモデル>



## <技研グループの現ステージ>



# 基本戦略

## 成長のための4つの基本戦略と経営目標を設定

### 基本戦略



- ① 海外市場への積極展開
- ② 独創性・創造性に富む開発の強化
- ③ 国内市場の着実成長
- ④ 事業を支える基盤の強化と深化

### 経営目標(2024年8月期 ▶ 2027年8月期)

連結売上高

294億円 ▶ 360億円

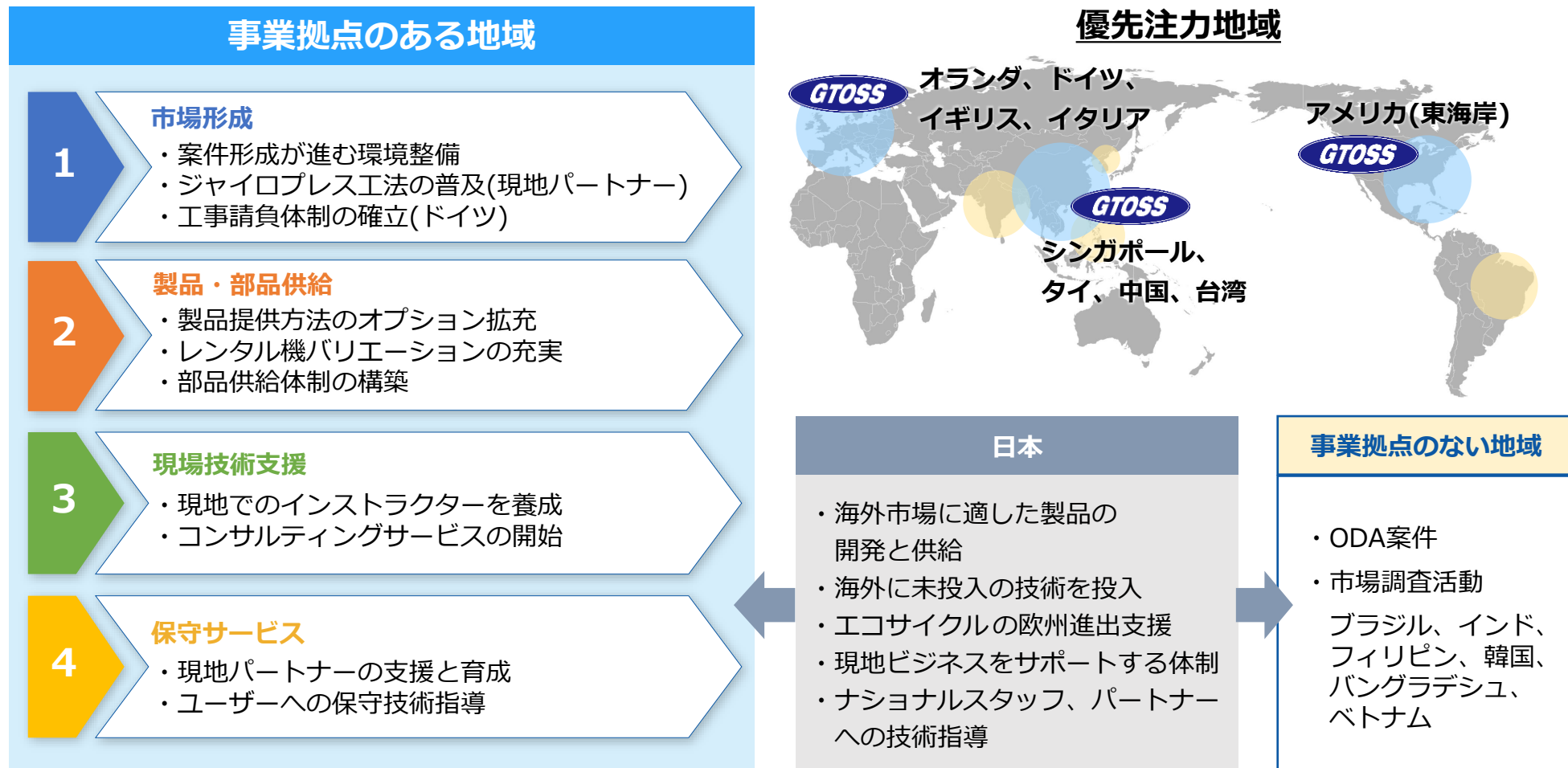
営業利益

33億円 ▶ 49億円

ROE

6.1% ▶ 8.5%

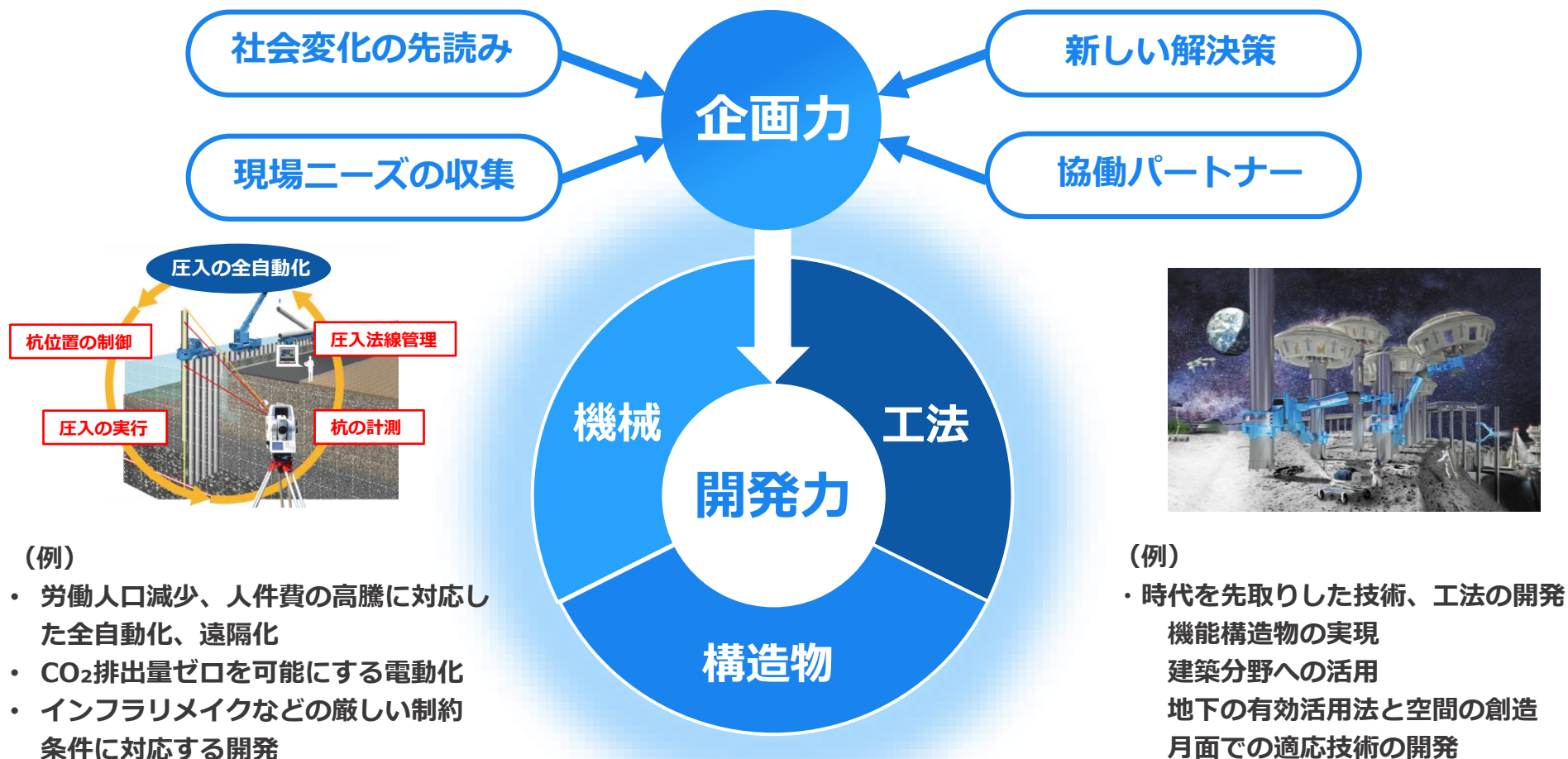
## 海外市場は機械販売からトータルサポートへ 現地の課題に対応しつつ拠点機能を整備し、市場拡大を加速



\*GTOSS : 圧入機ユーザーへの総合支援サービス「GTOSS (ジトス) = GIKENトータルサポートシステム」



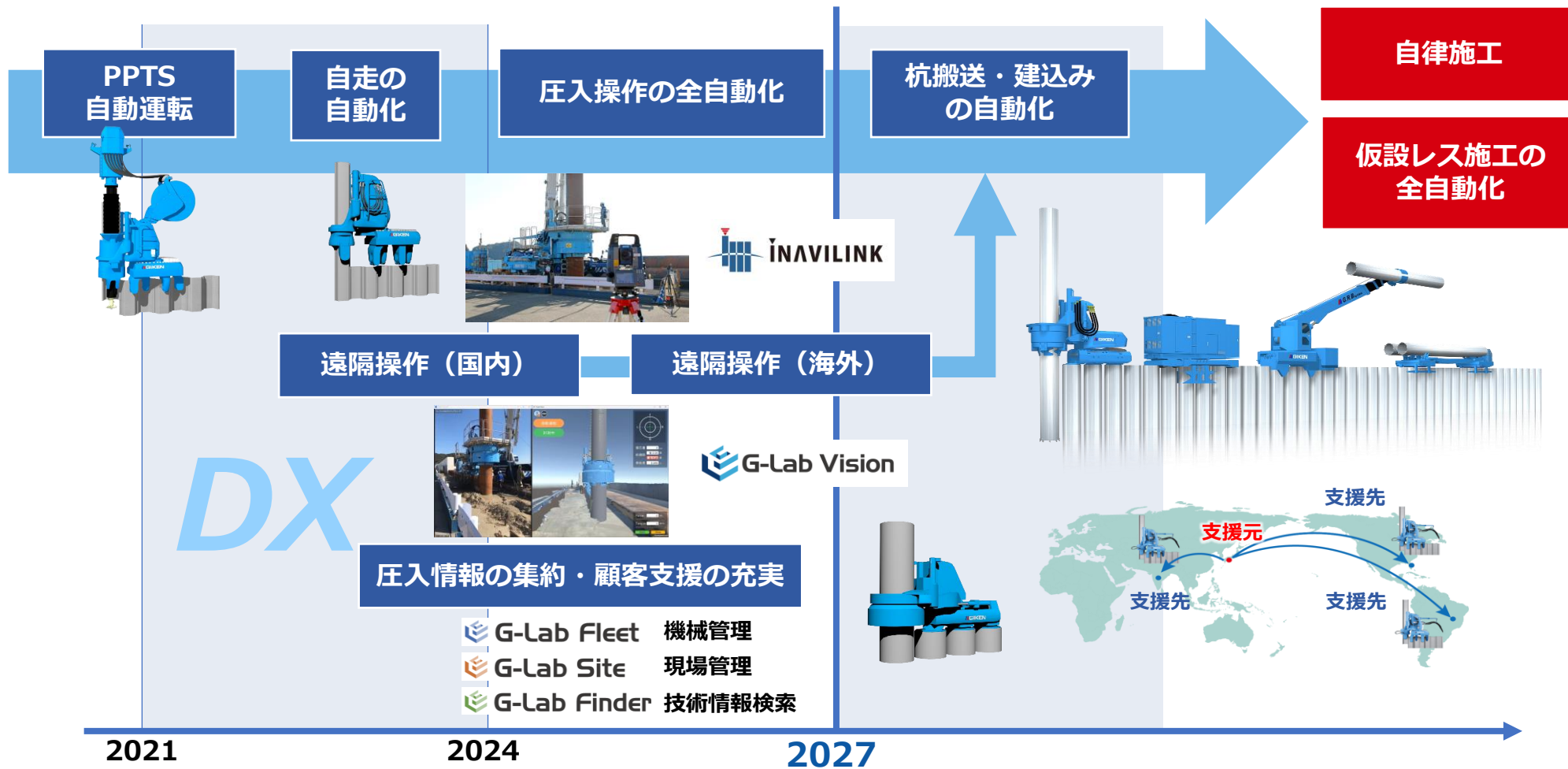
社会の変化に対応した「物」「方法」を企画・開発し続けることができる体制を整備



より早く、より多くの新しい「物」「方法」を社会に提供する

## 新技術の展開事例

労働人口の減少に対応する自動運転・遠隔操作技術を順次市場投入



### 2027年までにフルラインナップで提供

圧入工法が当然に採用される社会を目指して、効率的な活動を進めるとともに、顧客のニーズに対応する工法・製品を市場に提供

## 発注者・設計者

- 上流提案の強化（プロジェクト企画段階から）
- 適用範囲の拡大（防災・災害復旧、インフラ更新・改良）
- 新技術の採用・普及（インプラント NAVI、神経構造物）
- 地下製品の提案拡大

## ユーザー・指定工場

- 顧客支援の充実・現場の声、ニーズ反映
- 品質の高い製品・サービスの提供
- 電動化、デジタル技術搭載製品の投入
- (一社)全国圧入協会との協働



### 【市場環境】

- 材料価格高騰・労務費の上昇・作業員不足

①人的資本への投資 ②イノベーションの創出 ③生産性の向上を推進し、技研グループが継続的に成長するための事業基盤を強化

## 技研グループの成長

### ①人的資本への投資

- ・ 経営戦略と連動した人材戦略
- ・ 人材育成体系の明確化  
(教育、リスキル、実践の機会提供)
- ・ やりがい × 働きやすさを整備

### ②イノベーションの創出

- ・ チャレンジする文化の醸成
- ・ 異業種との交流、連携の促進
- ・ イノベーション人材の補強

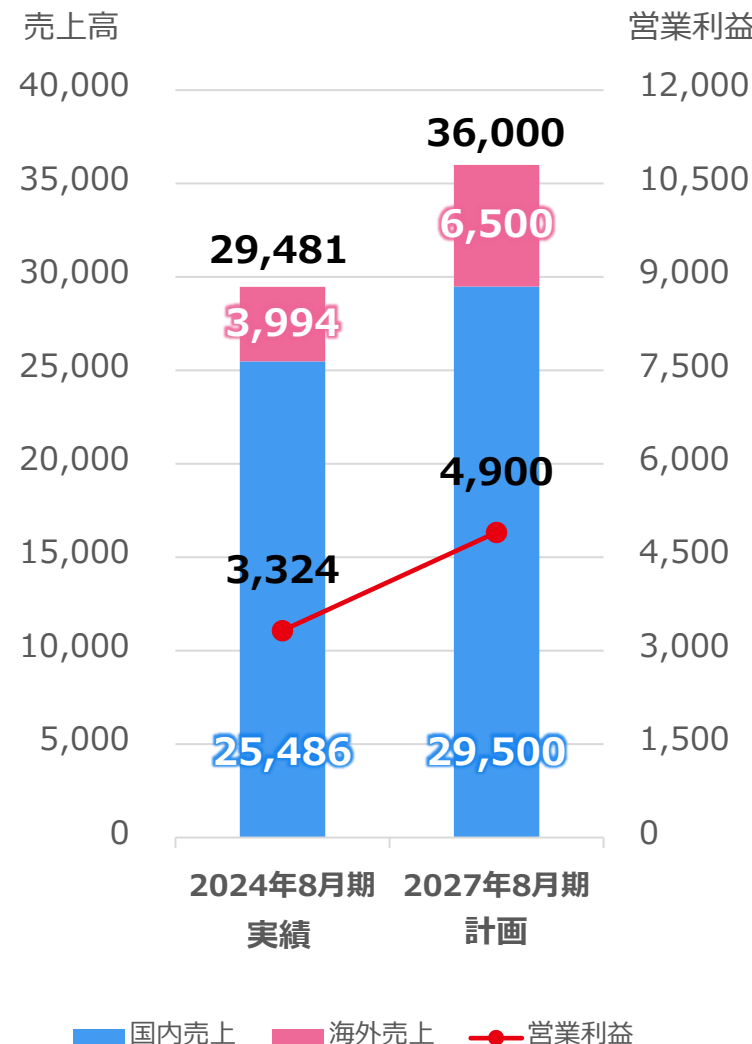
### ③生産性の向上

- ・ データドリブン経営の実施
- ・ コストダウン
- ・ 問題発見、改善を続ける環境

# 数值計画

項目		2024年8月期 実績	2027年8月期 計画	増減率
売上高		29,481	36,000	+22.1%
海外別 国内	国内	25,486	29,500	+15.7%
	海外	3,994	6,500	+62.7%
	海外比率	13.5%	18.1%	+4.6pt
セグメント別	建設機械	20,940	26,500	+26.6%
	圧入工事	8,540	9,500	+11.2%
営業利益		3,324	4,900	+47.4%
売上高営業利益率		11.3%	13.6%	+2.3pt
当期純利益		2,437	3,500	+43.6%
R O E		6.1%	8.5%	+2.4pt

(単位：百万円)



# 企業価値向上への取り組み

## サステナビリティ基本方針に基づくマテリアリティを特定

技研グループが社会価値を創造しながら持続的に企業価値創造を実現するために、中長期的に取り組むべき重要課題を特定した。今後、具体的な取り組みを検討し公表する。

マテリアリティテーマ  
(関連する社会課題)

### 環境

- ① 自然環境と調和したものづくり・施工  
(気候変動、生物多様性、ライフサイクルアセスメント)

### 社会

- ② 持続可能なまちづくりを支える建設の提供  
(都市・地域社会の持続性、社会インフラの維持・更新、都市の防災・災害対策、新興国での都市化)
- ③ 責任あるサプライチェーン・マネジメントとパートナーシップ  
(パートナーシップ、調達慣行、知的財産権の保護、人権・労働慣行)
- ④ 多様な人材が活躍できる組織づくり  
(D&I、エンゲージメント、多様な働き方の実現、人材育成、従業員の健康、労働環境の改善)

### 経済

- ⑤ 技術開発による工法革命の追求  
(技術革新、デジタル化・DX、品質、イノベーション人材の創出)

### ガバナンス

- ⑥ ガバナンスの高度化とコンプライアンスの徹底  
(公正取引、コーポレート・ガバナンス、腐敗防止)



## ワークインライフを推進し、多様な社員が活躍できる企業環境を整備

### 健康経営

社員が健康でベストパフォーマンスを  
発揮できるよう支援



2024  
健康経営優良法人  
Health and productivity

「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」認定

### 女性活躍推進

女性が活躍する  
魅力的なグローバル企業を目指す



「なでしこ銘柄」への選定

### 仕事と育児の両立支援

育休取得を当たり前とし、  
社会全体の好循環づくりに貢献

育児休業取得率 ※対象：技研製作所

**100%**  
2024年8月期  
(実績)

**100%**  
2027年8月期  
(目標)

管理職に占める女性労働者の割合

※対象：技研製作所

**10.8%**  
2024年8月期  
(実績)

**12.0%以上**  
2027年8月期  
(目標)

## ステークホルダーとの共存共栄を目的とした企業価値向上の経営を実施

### 施策

### 取り組み事項

#### 資本コストを 意識した経営

- ・株主資本コストを踏まえて利益重視の経営を実施

#### 株主還元

- ・企業の持続的な成長に向けた経営基盤を作る
- ・安定的な株主還元を実施
  - ※連結配当性向は40%を目安
- ・機動的な自社株取得を実施

#### ステークホルダー との対話

- ・RED HILL 1967をはじめとする拠点で当社グループ事業に対する理解促進を実施

### 中期経営計画 目標

ROE

**8.5%**

(2027年8月期)

配当性向

**40%**  
目安

# 長期ロードマップについて

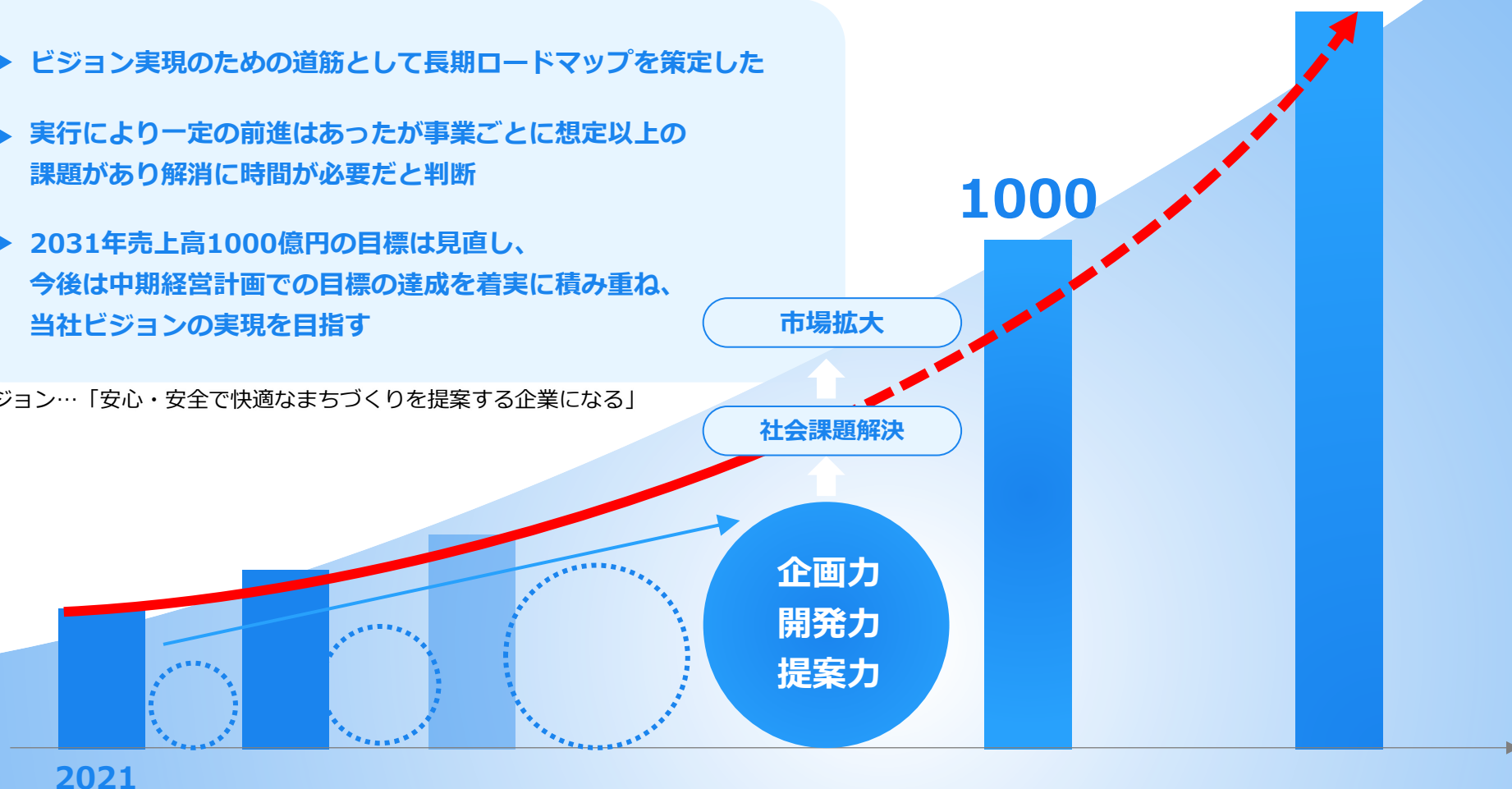
A decorative graphic consisting of three parallel diagonal lines in blue, white, and red, extending from the right side of the blue banner.

## 長期ロードマップ「GIKEN GOALS 2031」について

ビジョン\*への道筋と位置付け、中期経営計画の着実な達成により実現を目指す

- ▶ ビジョン実現のための道筋として長期ロードマップを策定した
- ▶ 実行により一定の前進はあったが事業ごとに想定以上の課題があり解消に時間が必要だと判断
- ▶ 2031年売上高1000億円の目標は見直し、  
今後は中期経営計画での目標の達成を着実に積み重ね、  
当社ビジョンの実現を目指す

\*ビジョン…「安心・安全で快適なまちづくりを提案する企業になる」



インプラント工法で世界の建設を変える

**GIKEN**

